

## 令和3年度社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業計画

### 【基本方針】

わが国では、地域の相互扶助や家族同士の助け合いにより、人々の暮らしが支えられてきました。日常生活における不安や悩みを相談できる相手や世帯の状況の変化を周囲が気付き支えるという人間関係が身近にあり、子育てや介護など必要な場合も、地域や家族がそれを担ってきました。

しかしながら、近年、介護と育児に同時に直面する世帯（ダブルケア）等、様々な課題が絡み合って複雑化したり、急速な少子高齢化を背景に、地域でのつながりは弱まり、「社会的孤立」や「制度の狭間」などの課題も表面化しており、個人や世帯単位で複数の課題を抱え、複合的な支援を必要とする状況が見られ、このことへの支援が課題となっています。

本市域では、東日本大震災から10年を迎え、三陸道の全線開通やインフラ整備が着実に進み、被災された方々の再建した住宅等への転居も完了しました。しかしながら、労働環境や少子高齢化の進展に伴う世帯構成の変化や新型コロナウイルス感染症が発生する等生活環境の変化、そして、「生活困窮等を訴える方」、「複合的な課題を抱えている方」、「社会的に孤立している方」等が増加することが散見される中であって、近隣での支えあいの関係性構築には時間を要し、継続した支援が急務となっています。

気仙沼市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域住民及び福祉組織・関係者の協働により地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりのため、気仙沼市と連携して策定した、地域住民とともに歩むことを基本とする第3期地域福祉活動計画の実施に継続して取り組むことによる共生社会を目指してまいりました。

地域課題である共生社会の実現に向けた地域住民の複合化・多様化した支援ニーズに対応するため、生活課題を把握し、解決していくことができる包括的な支援体制づくりが求められており、多職種連携や他機関協働、地域住民やボランティア等との協働による地域づくりが必要です。そのためには、相談支援体制の充実や多様な社会参加に向けた支援はもとより、地域において多様なつながりが育つことを支援するための地域づくりに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための行動自粛により、在宅での生活を強いられ、会話ができない、楽しくない等心と身体への影響も懸念され、認知機能や身体機能の低下の予防も必要とされ、気仙沼市社会福祉協議会の果たす役割も大きくなっています。

本会としては、地域社会を取り巻く環境を十分に認識し、ガバナンスの強化と職員のコンプライアンスのさらなる醸成を図り、経営状況を適切に判断して責任と透明性のある運営に努め、社会的使命を果たしてまいります。

## 【重点目標】

### 1 地域福祉活動計画の推進

地域福祉活動計画の推進に当たっては、地域福祉活動を担う人材の発掘や育成、住民が参加しやすいサロン活動への支援、地域課題の把握と解決に向けた活動への支援などに取り組みます。

#### (1) 地域福祉活動推進のための担い手育成強化

地域福祉活動を推進いくうえで、地区社協をはじめとする地域福祉の要となる担い手不足に直面する中で、新たな担い手の発掘は、どの地域においても重要課題であります。解決のためには地道な取り組みが必要であることから、地域関係者の方々と共に考えながら、取り組んでまいります。

#### (2) 地区社協等の活動支援

地区住民を中心とした組織として、地域で福祉活動を行っている地区社協への支援は、本会業務の大きな柱であります。

小地域福祉活動への助成を継続して行い、地区社協が地域活動拠点として機能できるよう、運営に対して支援を強化してまいります。

#### (3) 災害公営住宅等のコミュニティ活性化のための支援

東日本大震災から10年が経過し、災害公営住宅等においては、自治会の結成や周辺自治会への加入が進んだものの、リーダーの選出等の課題が浮き彫りになってきております。

本会としては引き続き関係機関や支援団体との連携の下、活性化に向けた支援を継続してまいります。

### 2 地域共生社会の実現に向けた取り組みの拡充

#### (1) 地域包括ケアシステム構築への取り組み

地域共生社会の実現には地域包括ケアシステムの理解が不可欠であることから、地区社協と連携して、高齢者のみならず生活上の困難を抱える障害者等が、地域においても自立した生活を送ることができるよう地域住民による支えあいと公的支援が連動し、地域を「丸ごと」支える包括的な支援体制が必要であることから、住民懇談会の開催支援など、地域での課題の共有と併せ、必要なサービス資源の開発に向けた取り組みを行います。

### 3 介護保険事業・障害者福祉サービス事業への対応

本会の財政基盤を支える介護保険事業や障害福祉サービス事業は、近年の利用者の減少に伴って報酬の減収が続いており、さらなる経営健全化に向けた取り組みに努めます。また、職員の確保も厳しく事業の統合や廃止など、組織の再編成を検討します。

また、本年度から新たに指定管理事業者としての指定を受けたことから、安全で快適に利用できるよう適切な施設管理に努めます。

#### 4 生活支援体制整備事業の取り組み

互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズのコーディネート機能を担い、支えあいの体制づくりの充実・強化を図ります。

##### (1) 支え合いの大切さを伝える啓発活動

住民向けシンポジウム等の開催や広報等による地域活動の紹介を通し、支え合いの大切さの啓発に取り組みます。

##### (2) 地域課題の解決に向けた支援

地域ニーズや社会資源の把握に努め、課題解決に向けた担い手の支援・育成及び関係機関・団体とのネットワークづくりに取り組みます。

##### (3) 継続性と連携のあるつながる話し合いの場づくり

地区社協圏域における話し合いや活動の場において、地域活動や課題等の情報を共有しながら、住民が主体的に支え合いの活動に参加する機運づくりに努めます。

##### (4) フレイル予防と高齢者の社会参加の促進

フレイル予防啓発活動の取り組みにより、高齢者の健康維持と社会参加の促進を通して、高齢者の生きがいをづくりを支援します。

#### 5 組織体制改革と経営基盤の強化

厳しい経営状況が続く中、社会福祉法人に求められているコンプライアンスの徹底とガバナンス強化に向けた組織体制の改善と経営基盤の強化に向けて、職員の人材育成や広報活動の充実、財源確保に努めます。

##### (1) 組織体制への対応

理事、監事、評議員からの指摘事項は法人運営や財務会計に関する管理体制に生かし、適切な事務・事業執行に取り組みます。

##### (2) 組織の見直しと経営基盤の確立

本会の財政基盤の根幹をなす介護保険事業や障害福祉サービス事業は利用者の減少による収入の減少が続いていることから、事務局組織の見直しとともに、利用者の確保に努め、自主財源の確保を図り財政基盤の確立に努めます。

## 1. 法人運営事業

執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会、業務執行及び財産状況を監査する監査会を実施し、それぞれの役割や責任を明確化し、本会の経営・運営の充実強化を図ります。

事業名	内 容
理事会の開催	地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともに進めていくため、理事会、評議員会を中心として事業の推進を図ります。 定例理事会 3回 定例評議員会 2回 理事 13名以上16名以内、評議員 28名以上33名以内 当初予算額 627,000円
評議員会の開催	
監査会の開催	理事の業務執行や事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を行います。 定例監査会 2回 監事 3名以内 当初予算額 168,000円
苦情解決責任者及び第三者委員の設置	本会が提供する福祉サービスに対する苦情に適切に対応し、利用者の満足感を高め、利用者個々の権利を擁護し、利用者の苦情に円滑・円満に解決します。また、研修会への参加等により、資質の向上を図ります。 当初予算額 15,000円
評議員選任・解任委員会の適時開催	評議員に欠員等が生じ、各地区や団体からの推薦書が提出された際に、速やかに評議員選任・解任委員会を開催し、体制の整備を図ります。
委員会の開催	社協運営に関する意見を聴するため、企画経営委員会、地域福祉推進委員会を開催します。

## 2. 地域福祉事業

地域福祉活動計画に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すとともに、地域福祉活動の充実に努めます。

事業名	内 容
地域福祉活動計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会の定期的な開催により、第3期活動計画の進捗状況の点検・評価・見直し等を行います。</li> <li>・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を開催し、各地区社協の代表委員において、第3期活動計画推進に向けての具体的取組みの点検・評価、事業推進に向けた連絡・調整等を行いながら、地域の課題解決力の向上を図ります。</li> <li>・計画の推進に向けて、職員が地域に出向く際には、市民、地域・事業者等へ広く啓発し、計画の理解と地域福祉活動への参加促進を図ります。</li> </ul> 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 576,000円

<p>地区社協活動への支援</p>	<p>地区社協会長会議を開催し、情報提供や意見交換を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の推進を図るため、地区社協会長会議を年3回開催し、情報共有と意見交換を行ないます。また、地域での支え合い活動の充実や推進に向け、各地区社協の課題を把握するとともに、解決に向けた支援に取り組みます。</li> </ul> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 410,0000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる自主的な事業へ活動費を助成し、地域福祉活動の促進を図ります。</li> </ul> <p>当初予算額 法人運営事業の内 2,229,000 円</p>
<p>ふれあい相談センターの運営</p>	<p>ふれあい相談センター（生活相談所）において市民の課題解決に向けた相談を受けます。地域に出向いた移動相談実施のほか、相談員の各種研修会への参加や連絡会議の開催等、地域ニーズを捉えながら重層的な支援ができるようふれあい相談センター（生活相談所）機能の強化を図ります。</p> <p>【気仙沼地区】</p> <p>気仙沼市社会福祉協議会本所にて、月曜日から金曜日（木曜日を除く）午前9時から午後3時まで開設します。</p> <p>【本吉地区】</p> <p>気仙沼市社会福祉協議会本吉支所にて、毎週月曜日午前9時30分から午前11時30分まで開設します。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 1,686,000 円</p>
<p>小地域福祉活動の推進</p>	<p>誰もが地域の中で安心して生活ができるよう住民同士が協力し、見守り、助け合い、支え合う小地域福祉活動の推進に努めます。また、生活支援体制整備事業と支えあう地域づくりという目的が合致することから、連携、協働しながら推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協圏域での住民懇談会の開催により、地域の福祉課題や地域福祉活動の情報交換、意見交換等を通して、地域課題解決に向けた住民主体の支えあい活動につながるよう支援に努めます。</li> <li>・地域福祉活動に携わる人材育成を目的とした研修会を開催します。</li> <li>・地域福祉推進フォーラムを開催し、地域で抱える課題解決に向け住民や関係者がそれぞれの役割を考える機会とします。</li> <li>・支援を必要とする方を近隣等で見守り支え合う、小地域福祉ネットワーク活動を推進します。</li> <li>・ヘルプカードを広く周知し、日常や災害発生時に援助や支援が必要な方などの希望者に継続して配布します。また、必要な時に援助が受けられるよう市民の理解促進を図ります。</li> <li>・地域支え合い活動推進モデル地区社協を指定し、住民が元気に活躍できる地域づくりと支えあいの活動の充実・強化を図ります。</li> <li>・小地域福祉活動補助金を交付し、活動の円滑な運営を図ります。</li> </ul> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 1,795,000 円</p>

地域包括ケアシステムの構築推進	構成団体と連携・協力し、地域包括ケアシステム構築に積極的に取り組み、気仙沼市地域包括ケア推進協議会で策定したアクションプランの推進を図ります。
広報・啓発	<p>・社協だよりやホームページにより、情報発信に努めます。</p> <p>「気仙沼市社協だより」を年6回（5月、6月、8月、10月、12月、2月）発行し（全戸配布）、地域活動の紹介や福祉サービスの情報発信を行うことにより、住民の地域福祉活動の啓発と参加を促進します。</p> <p>・ホームページ</p> <p>ホームページを活用し、地域の福祉活動や福祉サービス、事業の紹介、ボランティア情報等幅広い分野の情報発信を行います。また、SNSを活用したタイムリーな情報発信方法を検討いたします。</p> <p>当初予算額 福祉育成援助活動事業の内 2,260,000円</p>
本吉地域福祉まつり	<p>『みんなでいろんな輪をつくろう』をテーマに、市民が楽しみながら福祉への理解を深め、共に支え合う地域づくりを推進する多世代交流イベントとして、毎年1回一つの会場で開催するこれまでの福祉まつりのあり方を見直し、本吉地域の生活文化や様式が同じであるミニ社協（または地域振興会）単位での「地域の福祉まつり」として、地域の主体的な開催を働き掛けます。新しい地域の福祉まつりは、年間を通して地域住民が企画運営や参加などの様々な立場で実践活動に関わっていけるような仕組みをつくることで地域のつながりをつくり、助けあいや支えあいの地域福祉活動へのさらなる広がりを目指して、その活動を支援します。</p> <p>開催月：6月（全体開催が可能な場合）、地域では随時開催。</p> <p>当初予算額 福祉育成援助事業の内 359,000円</p>
本吉地域ひまわり会交流事業	<p>新しい福祉まつりの一環として慣れ親しんだ自分達の地域で、世代間交流の機会づくりを推進するための住民の実践活動を支援します。また、本吉響高等学校と連携し、一人暮らし高齢者へ交流機会の提供と仲間づくりを目的とした交流会を年1回実施します。</p> <p>実施月：本吉響高等学校交流は12月、地域では随時開催</p> <p>当初予算額 161,000円</p>
子育て支援交流事業	<p>新しい生活様式を踏まえ、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底して、関係機関や地元企業、地域組織と連携したイベントの開催や、子育て世代に対して地域活動への参加を呼びかけながら、地域で子どもを育てる環境づくりに取り組みます。</p> <p>当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 124,000円</p>
高齢者交流会	<p>高齢者の一人暮らし及び高齢者のみの世帯を対象に、生活の質の向上と仲間づくりやつながりづくりの機会となる事業を企画し、民生委員・児童委員やボランティア等関係団体と連携しながら、高齢者の健康維持のため交流会を実施します。</p>

	当初予算額 老人福祉事業の内 50,000 円
善意銀行の運営	市民からの多様な善意の預託を受け、地域生活支援及び住民参加による地域福祉の推進に資するよう効果的な活用に努めます。 当初予算額 301,000 円
屋内ゲートボール場の運営	市民の健康増進とスポーツ振興及び福祉向上のため、管理運営委託先である気仙沼市ゲートボール協会と連携し、適切な施設の維持管理に努めるとともに利用者へ感染症対策の徹底により利用促進を図ります。 当初予算額 920,000 円
気仙沼市市民福祉センター管理・運営	気仙沼市市民福祉センター条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、社会福祉を目的とする市民相互交流及び高齢者並びに障害者の自立促進及び健康増進を図るため、本会が行う事業及び福祉団体等が行う事業等と連携し、センターの効果的な活用に努めるとともに、施設の適正かつ円滑な運営に努めます。 当初予算額 16,350,000 円
気仙沼市唐桑保健福祉センター・気仙沼市福祉の里野外活動施設管理・運営	気仙沼市保健福祉センター条例及び気仙沼市福祉の里野外施設条例並びに指定管理に係る基本協定書に基づき、市民の健康保持・増進及び地域福祉の推進を図るため、適切な維持管理に努めます。また、本会が行う事業及び福祉団体等が行う事業と連携し、センター及び野外施設の効果的な活用を図ります。 当初予算額 13,687,000 円

### 3. ボランティアセンターの運営

地域にとって新たな支え合いの担い手となるボランティア等への一層の支援や育成により、地域福祉活動の活性化を図ります。

事業名	内 容
ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進	福祉やボランティア活動への理解と関心を深め、参加を促進することにより、住民参加による福祉のまちづくりを目指すことを目的とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア講座の開催 ボランティア講座を開催することにより、ボランティア活動者のすそ野を広げるとともにフォローアップを行い、住民参加の福祉のまちづくりを広めます。また、市内のボランティア同士の交流を通し、連携し福祉のまちづくりに取り組むきっかけづくりを行ないます。</li> <li>・ボランティアの相談、ニーズ受付、調整、紹介業務 随時の相談に応じ、人とのつながりの中で共に豊かに暮らすことのできる地域づくりに理解を深めることができるよう、様々な福祉体験やボランティア活動の機会を提供します。</li> <li>・ボランティア団体等への各種情報誌の提供 全社協発行「ボランティア情報」等の各種情報誌や助成事業等の情報提供に</li> </ul>

	<p>より、各種ボランティア団体の活動状況の周知とボランティアが活動しやすい環境づくりに努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティア 大規模災害に備え、新しい生活様式に配慮した災害ボランティアセンター設置運営訓練等を開催し、機能強化に努めます。</li> <li>・ボランティアへの支援 ボランティアの負担軽減を図る一助として、活動中の事故・ケガに備え、ボランティア保険への加入促進と、活動支援として、保険料の一部を補助します。</li> </ul> <p>当初予算額</p> <table> <tr> <td>ボランティア活動育成事業の内</td> <td>184,000 円</td> </tr> <tr> <td>ふれあいのまちづくり事業の内</td> <td>322,000 円</td> </tr> <tr> <td>ボランティアセンター事業</td> <td>223,000 円</td> </tr> </table>		ボランティア活動育成事業の内	184,000 円	ふれあいのまちづくり事業の内	322,000 円	ボランティアセンター事業	223,000 円
ボランティア活動育成事業の内	184,000 円							
ふれあいのまちづくり事業の内	322,000 円							
ボランティアセンター事業	223,000 円							

#### 4. 福祉教育

市内小・中学校、高校を対象に、体験や交流活動を通じて福祉のこころを育むことを目的に福祉・ボランティア活動を推進し、児童生徒への福祉教育・学習機会を提供します。

事業名	内 容
福祉教育の推進	<p>地域と連携した福祉学習の開催、擬似体験や認知症に関する学習等の福祉学習プログラムの提供、ボランティア活動体験等の支援を積極的に行うことで思いやりの気持ちを育み、地域で学び合う中で福祉意識の醸成と支え合う地域社会づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育活動費補助金交付事業 学校教育における福祉活動への活動費の補助により、継続した福祉教育、ボランティア学習を支援します。また、取り組みやすい活動事例を紹介するなど、より利用に結び付く仕組みづくりを目指し、教育委員会等と調整を図りながら、各学校の担当教諭を対象とした情報交換会や研修会を開催するなど、福祉教育の一層の推進に努めます。</li> <li>・福祉教育、企業、団体への職員派遣事業 機会を捉えて市社協職員等を派遣し、地域活動に対する意識の啓発と地域における福祉人材の育成や福祉への理解者の拡大等を図ります。</li> <li>・行事参加協力調整事業（高校生ボランティア等の活動調整） 市内の福祉施設等からボランティアの派遣を依頼された際に、市内の高等学校及びボランティア団体の協力を得てボランティアを募り、ボランティア意識の啓発と福祉への理解と協力が深まるよう努めます。</li> <li>・敬老作文コンクール事業 市内の小学生を対象とした敬老作文コンクールを実施し、児童の高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培います。</li> </ul>



当初予算額	ボランティア育成活動事業の内	414,000 円
当初予算額	児童青少年福祉活動事業の内	323,000 円

## 5. 資金貸付等事業

支援が必要となった世帯に資金の貸付や必要な相談に応じることにより、生活の安定や生活意欲の助長が図られるよう事業を推進します。

事業名	内 容
生活福祉資金貸付事業	宮城県社会福祉協議会から「生活福祉資金貸付事業」を受託し、低所得世帯等の経済的自立と生活の安定が図られるよう貸し付けに関する相談と担当民生員や関係機関と連携を図りながら、必要な相談支援を行います。また、昨年から新たに開始された新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸し付けの相談及び申請窓口として、生活困窮者自立相談支援事業所等とより一層連携を図りながら、世帯の自立に向けた支援に取り組みます。 当初予算額 7,443,000 円
生活安定資金貸付事業	低所得世帯に対し、緊急に必要な小口の生活資金を貸付けることで、生活の安定が図られるよう担当民生委員と連携し、世帯の自立支援に努めます。また、担当民生委員と情報の共有を図りながら、償還への働き掛けと併せ、生活課題の解決に向けた取り組みを行います。 当初予算額 257,000 円

## 6. 援護活動

火災被害に遭った世帯に対し、その生活の安定に資するよう支援します。

事業名	内 容
援護活動事業	気仙沼市内で発生した火災、浸水被害による被災世帯に対し、その生活の安定に資するよう迅速な見舞金等の贈呈に努めます。 当初予算額 福祉育成援助活動の内 30,000 円
歳末たすけあい募金配分事業	住み慣れた地域で暮らしていくための様々な支えあい活動が展開できるよう、民生委員・児童委員及び地区社協等の関係団体の協力や行政等と連携に努め、地域の課題に即した活動への支援等を行ないながら、募金の趣旨に沿えるような配分に努めます。 当初予算額 7,400,000 円
交通・海難等遺児に対する就学支援費の支給事業	交通事故・海難事故・労働災害及び病死（不慮の事故を含む。）により、扶養していた父母の一方または両方が死亡した満 18 歳以下の高校在学までの者に民生委員を通じ、就学支援費を支給することにより、相談しやすい環境づくりに努めます。 当初予算額 児童福祉活動推進事業の内 339,000 円

## 7. 生活支援・障害福祉事業

### (1) 在宅障がい者福祉事業

生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障がい者の福祉サービスに取り組むとともに、視覚障がい者の外出支援や情報提供に努めます。

事業名	内 容
<p>日常生活自立支援事業 気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター（呼称：まもりーぶ気仙沼・南三陸）</p>	<p>判断能力が十分でない方への定期的な訪問活動を通して、適切な福祉サービスの利用と日常的な金銭や書類等の管理をサポートし、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援します。また、関係機関とのネットワークを活用した支援体制の構築や各事業所に対する本事業の共通理解を進めると同時に、専門員と生活支援員の積極的な雇用と研修等を設定し、権利擁護人材の育成及びサポート体制の確立、事業実施主体である宮城県社協との事業の整合性を図りながら、住民の権利擁護と本事業の実施に努めます。</p> <p>当初予算額 10,695,000 円</p>
<p>障害者福祉の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者福祉活動事業（障害者との交流事業） 当事者の社会参加を促進するとともに、地域の方々との交流を通して、相互理解を深めることを目的に専門機関と連携し取り組みます。また、当事者と交流できるような内容の講座やフォローアップ研修を開催します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 69,000 円</li> <li>・ 録音サービス事業 視覚障がい者等への情報提供の一環として、朗読奉仕グループや高校生ボランティア等の協力により「広報けせんぬま」や「社協だより」等を朗読録音し、希望者に配付することにより、行政情報や地域福祉情報などの必要な情報発信に努めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 11,000 円</li> <li>・ 点訳サービス事業 視覚障がい者への情報提供の一環として、ボランティアの協力を得ながら点訳サービスを行うことにより、行政情報や地域福祉情報等の必要な情報提供に努めます。また、ボランティアや利用者の現状の確認を行うとともに、適切な情報提供媒体についての検討を行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 10,000 円</li> </ul>
<p>ガイドヘルパー派遣事業</p>	<p>新しい生活様式に配慮しつつ、視覚障がい者の社会生活を支援し、視覚障がい者の社会生活範囲の拡大と福祉の増進を図ることを目的に、ガイドヘルパーの派遣を行います。また、ガイドヘルパー養成講座等を開催し、人材の育成に努めます。</p> <p>当初予算額 障害児者福祉活動事業 340,000 円</p>

## (2) 指定障害福祉サービス事業

障害者総合支援法等関係法令を遵守し、気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣市町村に居住する障害のある利用者及び保護者の意思、人格を尊重し、心身の特性を踏まえた適切なサービスを提供するとともに、利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう適切な支援に当たります。また、職員研修を通して、職員の資質向上と法令遵守の徹底による適正な事業運営を推進します。

事業所名	内 容
気仙沼市松峰園 (就労継続支援B型 事業)	利用者が自立した社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、指導を適切かつ効果的に提供するように努めます。また、利用率の向上を図るため、毎月臨時開所日を設け、安定経営につながるよう努めます。 生産活動については、木工製品及び菓子製品のカタログ販売を行うとともに、外部販売の拡充に努め、生產品の増収を図り、利用者への支払い工賃が増加するように努めます。 当初予算額 72,631,000 円
気仙沼市みのりの園 (生活介護事業所)	障害を持つ利用者一人ひとりが安心して住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、関係機関と連携を深めながら支援していきます。利用者の意志を尊重した活動を通じて生活経験を重ねながら、その持つ力により自らが抱える問題の解決や自身の生活の向上を図ります。障害者虐待への意識付けや法令等に関して役割に責任を持ちながら適切に対応します。また、健康管理、排泄及び食事の介護、生産活動等適正なサービスの提供に努め、施設と地域住民とのふれあい交流活動に取り組むことにより、地域の身近な福祉施設を目指します。個々の障害特性に配慮するとともに、各年齢層への心身の状況に適したサービスの提供に取り組みます。さらに衛生管理を徹底し感染防止に努めます。 当初予算額 53,715,000 円
気仙沼市マザーズホーム (児童発達支援)	障害特性や年齢に配慮し、個人ごとの発達課題を見極めながら、身近の自立に向けた身体作りや手先の器用性を高める活動に重点を置いて取り組み、集団生活での適応能力を育てるように努めます。また、並行保育先の機関や保健師と連携を図りながら、保護者支援や兄弟支援にも心掛け、安心できる療育の場の提供に努めます。 当初予算額 19,375,000 円
気仙沼市マザーズホーム (放課後等デイサービス)	子どもの自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを大切にする取り組みを行います。また、学校休業時には、豊かな生活が送れるような活動を提供し、友達と関わりながら、葛藤を調整する力、主調する力、折り合いを付ける力が育つよう取り組みます。なお、自分で生活する力が育つよ

	<p>うな活動を提供し、自律に向けた支援を行うように努めます。</p> <p>当初予算額 21,534,000 円</p>
<p>気仙沼市マザーズホーム (保育所等訪問支援事業)</p>	<p>保護者に事業の周知を行うとともに、訪問先機関（保育所・幼稚園・認定子ども園・小学校・中学校）へ、保育所等訪問事業の必要性やその支援内容についても十分説明し、理解を得るように努めます。</p> <p>各関係機関との連携を大切にし、保護者・訪問先機関の職員との信頼関係を保ち、安心して利用できるよう努めます。</p> <p>当初予算額 1,840,000 円</p>
<p>気仙沼市マザーズホーム (宮城県障害児等療育支援事業)</p>	<p>事業内容の周知及び発達障害者支援センターと連携した相談支援、地域巡回支援、研修会の開催及び家族支援を行います。また、気仙沼支援学校と連携し、ペアレント・プログラムにも取り組み、地域で身近な療育相談の場になるように努めます。</p> <p>当初予算額 3,960,000 円</p>
<p>松峰園相談支援センター (指定特定相談支援事業)</p>	<p>利用者又は保護者からの意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう配慮し、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じ、利用者の選択に基づいた適切なサービスが総合的に提供されるよう努めます。併せて地域で必要な社会資源の開拓にも努めます。</p> <p>当初予算額 1,761,000 円</p>
<p>指定共同生活援助事業（介護サービス包括型）「つばさ」</p>	<p>当該利用者の心身の状況並びにその置かれている環境に応じ、利用者が地域や共同生活住居において安心して社会生活と地域生活ができるよう、相談、食事その他の日常生活の援助を適切かつ効果的に提供するよう努めるとともに、松峰園の開所日に合わせ、利用日数を増やすよう努めます。</p> <p>当初予算額 6,473,000 円</p>
<p>気仙沼市ホームヘルプサービス事業所</p>	<p>利用者の方がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の方それぞれの心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画を策定します。特に、感染症に対しては、国や県が示すマニュアルに沿った適正なサービスの提供に努めます。また、計画に基づき、内部研修を充実させ、従業者全体の資質向上を図ります。</p> <p>なお、従業者の雇用の安定化及び利用者確保に鋭意努力し、事業所の安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額 4,150,000 円</p>
<p>訪問介護ステーションからくわ</p>	<p>利用者一人ひとりをしっかりと理解し、精神状態や身体状態に合わせたサービスの提供に取り組みます。また、病状等に関する知識や理解をさらに深め、利用者の気持ちに寄り添ったケアに努めます。必要に応じては、地域や他職種と連携を図りながら、利用者が自分らしい在宅生活を送ることができるように支援します。</p> <p>当初予算額（居宅介護）2,983,000 円 （同行援護）1,914,000 円</p>

ヘルパーステーションもとよし	障害を持った方が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、継続的に利用者一人ひとりの要望を丁寧に聞き取り、真のニーズを見つけ出し、研修等にも力を入れ、専門性が高いきめ細やかなサービスが提供できるよう努めます。また、同行援護サービス提供体制を強化するとともに、関係機関との連携を密にし、サービスへの理解が広がるよう啓発活動に取り組みます。 当初予算額（居宅介護）1,490,000円（同行援護）2,159,000円
----------------	---

### （3）地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づき気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

事業所名	内 容
訪問入浴サービスもとよし（身障）	住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できるよう、利用者と家族の意向を尊重しながらケアを提供します。心身の状況の変化に留意しながら適切な対応ができるよう研修等を強化し、サービスの質向上に努め丁寧なケアを行います。また、関係機関との連携を密にして、多くの方に利用していただけるよう周知活動に取り組みます。 当初予算額 1,219,000円

## 8. 在宅福祉事業

### （1）在宅福祉事業

誰もが安心して地域で暮らせるように、地域関係者の協力、連携の下で定期的な訪問等により、高齢者世帯等の介護予防を視点に置いた支援に努め、地域包括ケアシステム構築を進めます。

事業名	内 容
移送サービス事業	家庭外へ移動困難な方や車両の確保が困難な方等に対し、依頼に基づき、リフト付ワゴン車の貸出や移送を行います。また、より利用しやすいサービスとなるよう検討します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 284,000円
在宅ふれあい型交流事業	地域で暮らす高齢者等の孤立予防と高齢者同士又は地域ボランティア等との交流を通して、住民同士が支え合う地域づくりを推進するため、広く事業の周知を行います。また、コロナ禍で活動が停滞している団体に対し、新しい生活様式に基づいた、事業実施を提案します。 当初予算額 老人福祉活動事業 595,000円
安否確認訪問サービス事業	一人暮らしの高齢者世帯、高齢者のみの世帯へ乳酸菌飲料の配達を通して、声掛け訪問による安否確認を行います。また、生活を支える様々な社会資源の把握に努めながら、幅広いサービス提供を目指します。 当初予算額 73,000円

介護機器貸出事業	緊急を要する要介護世帯や福祉活動を行うボランティア団体、福祉教育の場等に福祉用具を貸し出し、在宅生活の支援、地域活動及び福祉教育活動の企画や参加を促進します。
	当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 20,000 円
	その他 3,000 円

## (2) 指定介護保険事業

介護保険に関する法令等の趣旨に従い、介護又は支援を要する高齢者等が可能な限り在宅生活を送れるよう、利用者の尊厳に基づいた適切なサービス提供に努めます。

法制度の遵守と併せて地域福祉推進という本会の使命や公益性に根ざし、さらには事業の採算性に留意するとともに、サービスの質を左右する職員の資質向上に積極的に取り組み、効果的で効率的かつ安定した適正な介護保険事業経営に努めます。

### ① 居宅介護支援事業

事業所名	内 容
一景島在宅介護支援センター	要介護または要支援状態になった場合においても、利用者の方が可能な限りその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の方の立場に立ち、一連のケアマネジメントプロセスに基づいた、適正な居宅介護支援等の提供の充実強化を図ります。特に、感染症に対しては、利用者の在宅生活の継続を第一とし、行政とともにサービス調整に努めます。また、管理者と介護支援専門員との業務の相互チェック体制により、指定事業所として運営基準に則った適正な事業運営を図ります。なお、主任介護支援専門員配置等による算定可能な介護報酬加算を積極的に取得し、事業所の安定経営に努めます。 当初予算額 26,409,000 円
津谷居宅介護支援事業所	利用者の立場に立ち、介護保険事業と地域福祉推進事業の双方をつなげるとともに、医療との連携も積極的に行い、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう自立支援に向けたケアマネジメント機能の強化と充実に努めます。昨今、独居で認知症、アルコール依存症、癌末期などの利用者も多くなってきていることから、本人はもとより、取り巻く環境にも支援が必要な場合もあり、広く目を向け、適切な社会資源やサービスを活用し、生活全体を支援できるよう取り組みます。また、職員一人ひとりが信頼されるサービスを提供できるよう、更なる質の向上に努めます。 当初予算額 27,672,000 円

### ② 訪問介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	要介護または要支援にある利用者の方が、その有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう適正な訪問介護計画を策定し、利用者や家族の方

	<p>との定期的なモニタリングにより、よりきめ細やかなサービスを提供します。特に、感染症に対しては、国や県が示すマニュアルに沿った適正なサービスの提供に努めます。事業運営に当たっては、計画に基づき、内部研修を充実させ、従業者全体の資質向上を図ります。なお、人材確保に鋭意努力し、利用希望に応えうる人員体制整備と、算定可能な介護報酬加算を積極的に取得し、事業の安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額 22,915,000 円</p>
訪問介護ステーションからくわ	<p>利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、自立した日常生活を営むことができるように努めます。また、認知症や病状等に関する知識を習得し、スタッフの質の向上を図ります。さらに、利用者のできる能力を把握して、生活に活かせるような働きかけを行い、在宅生活が維持できるように支援します。地域や関係機関との連携も密にし、信頼関係の構築に取り組みます。</p> <p>当初予算額 23,961,000 円</p>
ヘルパーステーションもとよし	<p>住み慣れた地域や在宅での安心して生活が継続できるよう、利用者及び家族とのつながりを大切に、きめ細やかで質の高いサービス提供を行い、知識と介護技術のスキルアップに努め、介護職員確保については、常に地域に目を向け福祉への理解を深めながら介護実習生の受入を行うなど雇用につながる機会づくりを検討していきます。事業管理を徹底し、効率的で効果的かつ安定したサービス提供に取り組み、多職種との丁寧な連携をさらに充実させ、在宅生活を支えていきます。</p> <p>当初予算額 34,948,000 円</p>

### ③訪問入浴介護事業

事業所名	内 容
訪問入浴サービスもとよし	<p>住み慣れた地域で安心して心地よい在宅生活が継続できるよう、利用者及び家族の意向に寄り添いながら、きめ細やかで質の高い丁寧なサービス提供に努めます。医療や他事業所との連携を密にし、全身状態の変化に早期に気づき、適切に対応をしていきます。入浴の時間が利用者及び家族ともに喜びを感じていただけるよう、ケース検討や研修等への参加、介護技術・コミュニケーションや接遇、マナー向上に努め、心身状況を把握しながら、ケアを継続していきます。また、多様なニーズや様々な感染症の予防に対し、適切な衛生管理の徹底により、全ての方に安心して気分良く入浴していただけるようなサービス提供に努めます</p> <p>当初予算額 22,660,000</p>

#### ④通所介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市燦さん館デイサービスセンター	<p>利用者の心身の状況、生活環境、本人及び家族の希望等を尊重して作成した介護計画書に基づき、利用者が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう努め、家族の精神的、身体的負担を凶ります。</p> <p>厳しい経営状況にありますが、利用者確保に不断の努力を行い、安定した経営基盤を確保します。また、コスト削減にも更なる削減余地についての検証を職員全員で継続して実施していきます。</p> <p>介護・車輻事故防止と感染予防対策を徹底しながら、効率的で効果的かつ安定した適正な経営に取り組んで参ります。</p> <p>当初予算額 73,050,000 円</p>
やすらぎデイサービスセンター	<p>利用者と家族から信頼されるデイサービス運営を行い、ケース検討や研修に参加することで各関係機関との連携を密にし、地域団体やボランティア団体との交流も継続して参ります。また、福寿荘デイサービスセンターの廃止により、移行する利用者を受け入れることとなりますが、すべての利用者に対して満足をしていただけるように職員間で声を掛け合い、注意を払いながら事故を防ぎ、利用者がいつまでも住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられるように自立支援や機能維持に努め、安心・安全な質の高いサービスを提供して参ります。</p> <p>当初予算額 44,438,000 円</p>
大谷デイサービスセンター	<p>新型コロナウイルス感染症対策を継続し、利用者一人ひとりの心身の状態に配慮した安心安全なサービスの提供に努めます。持てる力を最大限に生かした日常生活動作及び活動を通して機能の維持向上を凶り、家庭生活に生かせるよう「可視化」した支援を提供します。職員間の「ハウ・レン・ソウ」を密に行い、福寿荘デイサービスからの利用者が安心して利用できるよう支援します。コロナ禍での地域交流の在り方を模索しつつ、喜びや生きがいを感じ地域での暮らしやすさにつながるよう地域貢献と相互理解の機会を設定し、共生社会の実現に資するとともに運営の充実に努めます。</p> <p>当初予算額 37,563,000 円</p>

#### ⑤認知症対応型共同生活介護事業

事業所名	内 容
グループホーム 桑の実	<p>地域密着型の指定管理施設として、また、唐桑地区唯一の認知症専門施設として、地域に根差した施設づくりを行い、利用される方々が住み慣れた地域で心穏やかに安心して生活できる支援を行います。</p> <p>パーソンセンタードケアの体現を目指し、入居者の立場で物事を考え、個々の尊厳や自己決定を尊重し、個別ケアによる自立した日常生活の支援を行</p>



	<p>い、お互いが理解し合い信頼関係が築けるように努めます。</p> <p>職員育成には各種研修会参加や内部研修を行い、習得した専門知識を活用することで、利用される方に適正で質の高いサービスを提供し、地域社会に必要とされる施設運営を目指します。</p> <p>当初予算額 39,448,000円</p>
--	---

#### ⑥福祉用具貸与事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	<p>利用者が安心して在宅生活が送れるよう、特定福祉用具販売事業との一体的な住環境整備の提案を多職種と連携しながら行い、利用者の立場に立ち、誠実かつ丁寧に行ってまいります。さらには、社協の介護保険事業所として、事業所の専門性を地域づくりに活かすなどの付加価値にも積極的に取り組んでまいります。</p> <p>当初予算額 13,422,000円</p>

#### ⑦特定福祉用具販売事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	<p>利用者が安心して在宅生活が送れるよう、福祉用具貸与事業との一体的な住環境整備の提案を多職種と連携しながら行い、利用者の立場に立ち誠実かつ丁寧に行ってまいります。さらには、社協の介護保険事業所として、事業所の専門性を地域づくりに活かすなどの付加価値にも積極的に取り組んでまいります。</p> <p>当初予算額 1,045,000円</p>

### 9. 気仙沼市受託事業

気仙沼市との連携を密にし、さらなる受託事業の充実強化に努めます。

事業名	内 容
生活支援型食事サービス事業	<p>食事の調理が困難等の高齢者に対し、定期的に食事を提供することで、生活上の負担軽減を図るとともに安否確認を行います。また、事業内容や実施について、引き続き市と協議しながら進めます。</p> <p>当初予算額 4,292,000円</p>
生活支援体制整備事業	<p>互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実強化を図ります。地域支え合い推進員(本会職員)と地域支え合い協力員(地区住民)を配置し、支え合いの地域づくりを推進します。</p> <p>・地域活動や社会資源の把握に努めるとともに、地域課題の共有とその解決</p>

	<p>に向け住民や関係機関等と一体となり取り組めるよう、住民懇談会（第2層協議体）等を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題解決に向けて必要な支え合いの担い手を養成し、活動に参加できるよう支援します。</li> <li>・地域団体、関係機関等とのネットワークづくりを行います。</li> <li>・地域の支え合い活動の啓発と充実・発展を目指し、住民向け研修会等の開催や広報等による発信を行います。</li> <li>・フレイル予防と高齢者の社会参加が促進するよう努めます。</li> <li>・地域支え合い協力員の発掘と養成に努めます。また研修会受講等とおし地域支え合い推進員の資質向上を図ります。</li> </ul> <p>当初予算額 生活支援体制整備事業 31,103,000円</p>
<p>気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業</p>	<p>気仙沼西地区の災害公営住宅及び防災集団移転団地において、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため、計画的な巡回訪問による安否確認や見守り・声掛けを行います。また、コミュニティ行事等への参加勧奨等の支援により、高齢者等の閉じこもりや孤立の防止に努めます。併せて、介護予防や生活困窮等への対応等必要な援助を心掛け、関係機関等に速やかにかつ的確につなぐことができるよう、地域の拠点機関としての充実強化を図ります。さらには、生活援助員が相談等に適切に対応できるよう、研修や講義による資質向上を図ります。なお、業務に当たっては、新型コロナウイルス感染予防を徹底し遂行します。</p> <p>当初予算額 17,578,000円</p>
<p>気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター</p>	<p>唐桑地域及び鹿折地区の地域組織や関係機関との連携基盤を強化し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関として充実強化を図ります。「気仙沼市地域包括ケアシステム構築に向けたアクションプラン」に沿った取り組みを進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談支援については、関係機関と連携して支援援助の体制を強化し高齢者やその家族に対して支援していきます。</li> <li>・高齢者の権利擁護について、関係機関と情報共有しながら支援します。</li> <li>・「地域ケア会議」や「唐桑地区多職種連絡会」を通じて、地域の専門職や地域の関係者と連携しながら、高齢者の課題解決に取り組んでいきます。</li> <li>・認知症施策として、「認知症初期集中支援事業」への参加や新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら「認知症介護家族交流会」「認知症カフェ」等を開催し、認知症の人と家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進していきます。</li> <li>・関係機関と連携して地域の「フレイル予防」に取り組んでいきます。</li> <li>・生活支援体制整備事業について関係者と連携して取り組んでいきます。</li> </ul>

	当初予算額 30,578,000 円
気仙沼市本吉地域包括支援センター	<p>本吉地域の地域組織及び関係機関との連携をさらに進め、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が持続できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関としての充実強化を図り、地域包括ケア構築に向けた積極的な取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症初期集中支援事業や認知症サポーター養成講座・認知症家族懇談会・認知症カフェの開催等コロナ感染症予防対策を取り、できる範囲で支援を継続していきます。</li> <li>・利用者の目標が達成できるよう、総合事業サービスの利用方法を介護支援専門員と相談しながら作成し、住み慣れた地域で自立した生活の継続に向けた支援をします。</li> <li>・安心して暮らしていくために高齢者の尊厳と権利を守っていく取り組みを進めます。</li> <li>・生活支援体制整備事業として、市が設置する協議体や地域支え合い推進員と連携しながら地域住民と交流し、みんなで支え合う地域づくりに取り組みます。</li> </ul> <p>本吉地域として、気仙沼市立本吉病院等の医療機関や関係機関との連携強化や認知症について地域ぐるみの支援ができるよう、住民等への理解を深める取り組みを積極的に進めます。</p> <p>当初予算額 28,212,000 円</p>
生きがい活動支援通所事業（福寿荘）	<p>高齢者の社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図るため、各種集いを実施します。また、各集いの参加者が心身共に健康的な生活を維持していく事ができるよう、関係機関の協力を得て行う介護予防講座等を通して、参加者間の交流を深め、生きがいにつながるよう支援を行います。</p> <p>当初予算額 17,578,000 円</p> <p>（元気老人デイサービス事業）</p> <p>高齢者の社会的孤立感の解消や自立生活の助長及びフレイル（要介護状態となること）の予防を図るため、慣れ親しんだ地域の方々との交流を大切に、趣味活動などの提供プログラムの充実と専門的な健康講話などを積極的に取り入れ、一人ひとりの生きがいや自己実現につながるよう支援を行います。当初予算 25,498,000 円</p>
家族介護者交流事業	<p>高齢者を介護している家族に対して、介護者相互の交流を図り、介護者を介護から一時的に開放し心身のリフレッシュを図ります。</p> <p>また、交流等を通じて介護に対する課題の把握や解決に向けて支援します。</p> <p>年4回実施予定（気仙沼地域2回、本吉地域2回）</p> <p>当初予算額 677,000 円（うち交流事業分 605,000 円）</p>

家族介護者教室事業	高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、介護の負担軽減、状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回開催予定。 当初予算額 677,000円（うち教室事業分72,000円）
外出支援サービス事業	リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と医療機関及び在宅福祉サービスを提供する場所等との間の移動を支援します。 当初予算額 96,000円

## 10. 団体事務

各種団体の事業支援とともに、自主的に活動ができるよう体制整備を支援します。

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	民生委員制度について、広く住民への理解を得られるよう周知に努めます。また、関係機関等の協力による様々な研修機会を通して、民生委員・児童委員としての資質向上を支援するなど、民生委員・児童委員活動の円滑な推進を図るとともに、適正な事務に努めます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	宮城県民児協が位置付けしている広域ブロックとして、南三陸町民児協との相互交流や連携を図り、圏域の課題共有とともに課題解決に向けた取り組みを推進し、ブロック内の民生委員・児童委員活動の活性化と相互交流を支援します。また、事務委託契約を締結し、適正な事務処理に努めます。
気仙沼市共同募金委員会	運営委員の任期満了（8月）に伴う、新たな体制がスムーズに整備されるよう手続等を進めるとともに、新運営委員及び奉仕員を中心に、共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい募金）に対する住民の理解と協力を得ながら、募金活動を推進するとともに、適切な配分と援護活動に努めます。 事務委託を締結し、適正な事務処理に努めます。
気仙沼市ボランティア連絡会	気仙沼市内のボランティア団体間の情報共有と連携を図るとともに、地域活動の一層の充実のための知識と技術を得る研修等の開催を支援し、ボランティア活動を推進します。
気仙沼市老人クラブ連合会	老人クラブ活動の活性化を図り、老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めます。単位老人クラブ及び地区老人クラブ連合会が地区の実情に即し、積極的に活動ができるよう支援し、生きがい活動の充実が図られるよう努めます。老人クラブは会員数が減少傾向にはありますが、地域の担い手として会員の力が活かせるよう、単位クラブ同士の交流を深めながら活動の活性化を図るとともに、会員の加入促進に取り組みます。また、女性リーダーの育成と各専門部活動の充実強化を図ります。さらに介護予防、フレイル予防を目的とした研修会や実践活動が推進するよう、関係団体と連携を図ります。

本吉町老人クラブ連合会	心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動への積極的な推進と会員増強運動に取り組みながら、各関係機関や団体等と連携し、クラブ組織の基盤強化を進めます。また、女性リーダーの育成と女性部活動の充実を図り、会員が生きがいある豊かな生活の実現ができるよう事業運営の支援に努めます。
本吉町遺族会	気仙沼市遺族会との連携を密にし、英霊の顕彰と慰霊に関する事業、戦没者遺族の相互扶助、会員の各種相談及び援助に関する事業などを実施しながら、団体の適正な運営支援に努めます。